

旧香流苑土地利用に関する意見交換会（第5回）ワークシート【第3部】

～築山や井戸の活用について～

土地利用用途による適否

	用途	周辺の住環境への影響			
		Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
①	井戸	・自然湧水するくらい水位があるので、樹木が育ちにくい。同じく水はけが悪いため、スポーツ系の広場にすると使えない日が多くなる。	・水遊び場	・飲用水にできるのか。 ・ビオトープ	・噴水、水遊び場、自家発電、災害用浄水場 ・井戸の面積分、市有地にとられて緑地面積が減るなら井戸はいらない。 ・飲み水にできないなら犬用のトイレ水として使う。
②	築山	・樹木は現状のままで竹林は別の樹木を移植。 ・現状の樹木を残しつつ、間伐し見通しをよくする。	・大きい森林でなくてもよい。 ・樹木の寿命によって取捨選択 ・木を緑地の中央に！	・移植	・アスレチック ・樹木の中のトイレ、ベンチ、デザイン性の高い、人が見に来るような施設 ・遊歩道
③	広場	・原邸公園のような芝生中心の公園が良い。 ・遊具ではなく、芝生広場。	・ドッグラン ・インクルーシヴ遊具 ・ベンチ、トイレ ・広場を多くとって遊具を少なく。	・遊歩道	・芝生、ボール遊び、ドッグラン、小中学生が使えるテニスコート・フットサルコート ・ご近所さんの集まる場所（絵画、演奏ができるスペース） ・イベントスペース（個人事業主向け飲食店、剣道教室）、コーヒーショップ
④	その他	・並木程度で売却地と境界を作る。 ・大木がよいか、低木がよいかは意見が分かれるため、「市民」に決めてもらうしかない。 ・夜暗いので街灯を増加して欲しい。 ・路上駐車しにくい道路作りを！	・防災拠点的な機能 ・簡単に維持管理できる手のかからない公園 ・売却部分が高齢者施設になれば公園の利用もできる。 ・身体障がい者と幼稚園のような施設とコラボ	・落ち葉は市民ボランティア、高木などは市が管理	・売却エリアとの境にある2本の桜の木を残して欲しい。 ・外周の水路とため池を払い下げ。 ・保存樹指定、公開空地を設ける。 ・ヒマラヤスギは伐採。 ・下刈材を散布して安全緑地帯。駐車スペース。